

山口県電子県庁基幹システム再開発及び運用保守業務_企画提案書評価項目表

評価項目		提案書への記載事項	評価区分	配点
1 全体計画及び取組の要件	1-1 提案の趣旨	電子県庁基幹システムの再開発に至る背景や課題を十分に理解し、設計及び開発並びに運用及び保守についての提案の趣旨が明確に記述されていること。	標準	20
	1-2 計画の提案	プロジェクト概要計画及び各システムの個別構築計画について、次に掲げる事項に留意して提案されていること。 (1) 仕様書の内容を満たすこと。 (2) 適正かつ効率的な作業の日程 (3) 設計を開始する時からシステムを安定的に稼働させることができる時までの工程の考え方及び日程 (4) 山口県との責任分担及び作業分担	最重要	40
	1-3 システムの移行対応	現行システムから円滑に移行する方法について、次に掲げる事項に留意して提案されていること。 (1) 各システムについて処理すべき事務が停滞することがないこと。 (2) 移行の方式、手順、作業分担等 (3) 山口県の作業負担の軽減	最重要	40
	1-4 データの移行対応	現行システムからのデータ移行の方法及び日程について、次に掲げる事項に留意して提案されていること。 (1) 現行システムのデータが基本的に全て移行できること。 (2) 移行できないデータについては代替手段 (3) データ移行の完全性の検証 (4) 山口県の作業負担の軽減	最重要	40
	1-5 プロジェクト管理	適正なプロジェクト管理に対する考え方及びその実施の手法について、次に掲げる事項に留意して明確に提案されていること。 (1) 管理項目及びその管理内容 (2) 責任体制 (3) コミュニケーションに関するルール及び体制	最重要	40
	1-6 ライフサイクルコストの低減	1 ライフサイクルコストの低減を図るために導入する手法について、具体的に提案されていること。 2 設計及び開発の段階と運用及び保守の段階とに区分して記述されていること。 3 それぞれの具体的な手法による低減の効果が、数量的に把握された上で明確に記述されていること。 4 制度改正等に対応するためのシステムの改修に係る対応の方法と山口県の負担について、明確に記述されていること	最重要	40
	1-7 サービスの品質保証	仕様書に定める個々のサービスに係る品質の定義及び管理について、責任体制を含めて具体的に提案されていること。	標準	20
	1-8 互換性の要件	職員が利用しているすべての端末において提案に係るシステムの利用が可能であり、かつ、既存のアプリケーションソフトウェアの動作にも影響しないこと及び他の業務に係るシステムが問題なく動作することが具体的に証明されていること。	一般	10
	1-9 セキュリティ対策	セキュリティ対策について、「地方公共団体における情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」や「山口県情報セキュリティポリシー」の内容を理解し、システムへの不正アクセス及び悪意のある攻撃から電子県庁基幹システムを保護するために講ずるセキュリティ対策について、リスク分析を行った上で、システムの構築上の対策と運用上の対策とを区分して具体的に提案されていること。	重要	30
	1-10 業務に従事する者の経験及び資格等	1 システムを設計し、開発し、及び構築する時から、システムが稼働し山口県と安定稼働についての合意形成ができる時までの間に業務に従事する次に掲げる者(各工程において、本業務に50パーセント以上従事することが見込まれる者に限る。なお、(1)～(5)の兼務を妨げない。)を必置とし、該当職員の所属部署、役職、資格、経歴、実績及び担当業務について記述されていること。 (1) サービス指向アーキテクチャによるシステム設計及び開発に関する知識及び経験を有する者 (2) 認証基盤システム又はサービス連携基盤システムに関する知識及び経験を有する者 (3) 総務事務システム、旅費システム、地理情報システム又は文書管理システム及び情報公開システムに関する知識及び経験を有する者 (4) プロジェクトマネジメントプロフェッショナル、ITIL マネージャ等の資格を有する者 (5) 電子県庁基幹システムと同様又は同規模のシステムの開発の実績を有する者 2 技術的統括者及び営業統括者の所属部署、役職、資格、経歴及び実績について記述されていること。	最重要	40

評価項目		提案書への記載事項	評価区分	配点
2 非機能要件	2-1 システムの概要	1 電子県庁基幹システムに関して、全体の枠組み、基本的な考え方及び特長が明瞭かつ簡潔に記述されていること。 2 ハードウェアに関して、設定の条件、選定の理由、処理能力（機器性能諸元）、容量又は規模、性能及び信頼性が明確に記述されているとともに、システムを稼働させる上で十分な性能を有していることが証明されていること。	重要	30
	2-2 システムの拡張性及び柔軟性	電子県庁基幹システムの拡張性及び柔軟性について、次に掲げる事項に留意して創意工夫した点及び具体的な解決策が記述されていること。 (1) 組織改編、制度改正等への対応 (2) 利用者の拡大への対応 (3) 機能の強化への対応 (4) 機能を拡張する際に見込まれる概算の経費とその負担の区分	重要	30
	2-3 端末機器の管理	1 職員認証基盤システムにより認証する端末機器の管理について、その基本的な考え方及び具体的な実現の方法が明確に提案されていること。 2 端末機器を管理する上でのセキュリティ対策について記述されていること。	重要	30
	2-4 開発・運用体制	1 開発・運用の各フェーズに関する基本方針、全般の運用計画、責任体制、各工程における成果物及び特色について、具体的に記述されていること。 2 山口県との責任分担及び作業分担が明確に記述されていること。	最重要	40
	2-5 システムの運用・保守	電子県庁基幹システムの運用・保守に関して、SLAの充足のための基本方針、特色及び実施内容が具体的に記述されていること。	最重要	40
3 職員認証基盤システム	3-1 システムの概要	職員認証基盤システムに関して、全体の枠組み、基本的な考え方及び特長が明瞭かつ簡潔に記述されていること。	標準	20
	3-2 実現の方法	仕様書の内容を実現する方法について、新たに開発する部分とパッケージソフトウェアその他の既存のソフトウェアを利用する部分とを明確に区分した上で、具体的に記述されていること。	最重要	40
	3-3 類似するシステムの導入又は開発の実績等	1 パッケージソフトウェアを導入した実績又はスクラッチ開発をした実績等について、次に掲げる事項に留意して記述されていること。 (1) パッケージソフトウェアを利用する場合は、製品の名称、選定した理由、特長及び本業務と同等の規模の業務における利用の実績 (2) スクラッチ開発をする場合は、本業務と同等の規模の業務でシステムの開発をした実績及びその特長 (3) データの管理、保管及びバックアップの方法 (4) 各種の基本情報の投入の方法 2 主要な操作画面のスクリーンショット又は操作画面の提案が業務のフロー図に沿って提示されていること。	重要	30
	3-4 シングルサインオンの実現	利用者がアプリケーションソフトウェアを利用する際、一度認証を受けるだけで、その者に対して許可されているすべての機能を利用することができるようになる機能の実現の方法について、次に掲げる事項に留意して具体的に提案されていること。 (1) 他のシステムと連携する際に注意すべき事項 (2) 現時点で接続することができるシステム並びにその概算経費及び協力体制	標準	20
4 職員ポータルシステム	4-1 システムの概要	職員ポータルシステムに関して、全体の枠組み、基本的な考え方及び特長が明瞭かつ簡潔に記述されていること。	標準	20
	4-2 実現の方法	仕様書の内容を実現する方法について、新たに開発する部分とパッケージソフトウェアその他の既存のソフトウェアを利用する部分とを明確に区分した上で、具体的に記述されていること。	最重要	40
	4-3 類似するシステムの導入又は開発の実績等	1 パッケージソフトウェアを導入した実績又はスクラッチ開発をした実績等について、次に掲げる事項に留意して記述されていること。 (1) パッケージソフトウェアを利用する場合は、製品の名称、選定した理由、特長及び本業務と同等の規模の業務における利用の実績 (2) スクラッチ開発をする場合は、本業務と同等の規模の業務でシステムの開発をした実績及びその特長 (3) データの管理、保管及びバックアップの方法 (4) 各種の基本情報の投入の方法 2 主要な操作画面のスクリーンショット又は操作画面の提案が業務のフロー図に沿って提示されていること。	重要	30
5 サービス連携基盤システム	5-1 システムの概要	サービス連携基盤システムに関して、全体の枠組み、基本的な考え方及び特長が明瞭かつ簡潔に記述されていること。	標準	20
	5-2 実現の方法	仕様書の内容を実現する方法について、新たに開発する部分とパッケージソフトウェアその他の既存のソフトウェアを利用する部分とを明確に区分した上で、具体的に記述されていること。	最重要	40
	5-3 類似するシステムの導入又は開発の実績等	1 パッケージソフトウェアを導入した実績又はスクラッチ開発をした実績等について、次に掲げる事項に留意して記述されていること。 (1) パッケージソフトウェアを利用する場合は、製品の名称、選定した理由、特長及び本業務と同等の規模の業務における利用の実績 (2) スクラッチ開発をする場合は、本業務と同等の規模の業務でシステムの開発をした実績及びその特長 (3) データの管理、保管及びバックアップの方法 (4) 各種の基本情報の投入の方法 2 主要な操作画面のスクリーンショット又は操作画面の提案が業務のフロー図に沿って提示されていること。	重要	30
6 総務事務システム	6-1 システムの概要	総務事務システムに関して、全体の枠組み、基本的な考え方及び特長が明瞭かつ簡潔に記述されていること。	標準	20
	6-2 実現の方法	仕様書の内容を実現する方法について、新たに開発する部分とパッケージソフトウェアその他の既存のソフトウェアを利用する部分とを明確に区分した上で、具体的に記述されていること。	最重要	40
	6-3 類似するシステムの導入又は開発の実績等	1 パッケージソフトウェアを導入した実績又はスクラッチ開発をした実績等について、次に掲げる事項に留意して記述されていること。 (1) パッケージソフトウェアを利用する場合は、製品の名称、選定した理由、特長及び本業務と同等の規模の業務における利用の実績 (2) スクラッチ開発をする場合は、本業務と同等の規模の業務でシステムの開発をした実績及びその特長 (3) データの管理、保管及びバックアップの方法 (4) 各種の基本情報の投入の方法 (5) 取り扱える文書の形式及びその制限事項 2 主要な操作画面のスクリーンショット又は操作画面の提案が業務のフロー図に沿って提示されていること。	重要	30

評価項目		提案書への記載事項	評価区分	配点
7 旅費システム	7－1 システムの概要	県内自動車旅行の旅程検索のための地理情報システム及び公共交通機関の旅程検索のための乗換案内ソフトを利用したシステムを設計及び開発することとなるが、旅費システムに関して、全体の枠組み、基本的な考え方及び特長が明瞭かつ簡潔に記述されていること。	標準	20
	7－2 実現の方法	仕様書の内容を実現する方法について、新たに開発する部分とパッケージソフトウェアその他の既存のソフトウェアを利用する部分とを明確に区分した上で、具体的に記述されていること。	最重要	40
	7－3 類似するシステムの導入又は開発の実績等	1 パッケージソフトウェアを導入した実績又はスクラッチ開発をした実績等について、次に掲げる事項に留意して記述されていること。 (1) パッケージソフトウェアを利用する場合は、製品の名称、選定した理由、特長及び本業務と同等の規模の業務における利用の実績 (2) スクラッチ開発をする場合は、本業務と同等の規模の業務でシステムの開発をした実績及びその特長 (3) データの管理、保管及びバックアップの方法 (4) 各種の基本情報の投入の方法 (5) 取り扱える文書の形式及びその制限事項 2 主要な操作画面のスクリーンショット又は操作画面の提案が業務のフロー図に沿って提示されていること。	重要	30
	7－4 チケットデリバリーシステム	旅費に代えてチケットを現物給付するシステムの概要に関して、全体の枠組み、基本的な考え方及び特長が明瞭かつ簡潔に記述されていること。	一般	10
8 地理情報システム	8－1 システムの概要	地理情報システムに関して、全体の枠組み、基本的な考え方及び特長が明瞭かつ簡潔に記述されていること。	標準	20
	8－2 実現の方法	仕様書の内容を実現する方法について、新たに開発する部分とパッケージソフトウェアその他の既存のソフトウェアを利用する部分とを明確に区分した上で、具体的に記述されていること。	最重要	40
	8－3 類似するシステムの導入又は開発の実績等	パッケージソフトウェアを導入した実績又はスクラッチ開発をした実績等について、次に掲げる事項に留意して記述されていること。 (1) パッケージソフトウェアを利用する場合は、製品の名称、選定した理由、特長及び本業務と同等の規模の業務における利用の実績 (2) スクラッチ開発をする場合は、本業務と同等の規模の業務でシステムの開発をした実績及びその特長 (3) データの管理、保管及びバックアップの方法 (4) 各種のシステムとの連携方法 (5) 導入する住宅地図及び道路地図の特徴及び更新の方法 (6) 提案するシステムが有している管理者支援機能	重要	30
9 文書管理システム及び情報公開システム	9－1 システムの概要	文書管理システム及び情報公開システムに関して、全体の枠組み、基本的な考え方及び特長が明瞭かつ簡潔に記述されていること。	標準	20
	9－2 実現の方法	仕様書の内容を実現する方法について、新たに開発する部分とパッケージソフトウェアその他の既存のソフトウェアを利用する部分とを明確に区分した上で、具体的に記述されていること。	最重要	40
	9－3 類似するシステムの導入又は開発の実績等	1 パッケージソフトウェアを導入した実績又はスクラッチ開発をした実績等について、次に掲げる事項に留意して記述されていること。 (1) パッケージソフトウェアを利用する場合は、製品の名称、選定した理由、特長及び本業務と同等の規模の業務における利用の実績 (2) スクラッチ開発をする場合は、本業務と同等の規模の業務でシステムの開発をした実績及びその特長 (3) データの管理、保管及びバックアップの方法 (4) 各種の基本情報の投入の方法 (5) 取り扱える文書の形式及びその制限事項 2 主要な操作画面のスクリーンショット又は操作画面の提案が業務のフロー図に沿って提示されていること。	重要	30
10 その他	10－1 本件業務における山口県への提案	電子県庁基幹システムの再開発・運用保守に関して山口県に対して、多角的視点から有益な提案がある場合、明瞭簡潔に記述されていること。	特別	50

評価の視点

判定の項目	判定の基準
形式及び装丁	提出を求めた書類が、全て指示どおりそろっているかどうか。
仕様書との合致	提案の内容が仕様書に合致するものであるかどうか。
実施の実現性	委託の目的を果たすための実施体制が、業務内容に即したものであって実現性が高いと判断されるものであるかどうか。
所要経費	所要経費が総額で予定価格の範囲内で、かつ、各年度ごとの所要経費がそれぞれ予算の範囲内であって、全体として経費の節減について配慮されていると判断されるものであるかどうか。
業務遂行能力	提出された資料から、提案者が当該業務を最後まで遂行する能力を有すると判断されるものであるかどうか。
明瞭性	全体として提案の趣旨をよく理解することができるものであるかどうか。
提案性	全体として提案の内容に価値があると判断されるものであるかどうか。